

社会福祉法人「十愛療育会」の法人理念

「横浜市における障害医療・福祉の中核となるよう専門性を高め、その持てる機能を広く地域に提供し、障害児者とその家族がより安心して快適な生活を送れるよう支援します」

地域療育センターあおばの基本理念

- ・子どもたちのいま「あるがまま」を認め寄り添い、さらにより良く生きるための関わりを育てていきます
- ・子どもたちが地域の文化に歩み寄ることを援助し地域社会も少数派である子どもたちに歩み寄ることを支援します

支援方針

- ・お子さんの発達や状態に合わせた、必要な支援をしていきます。
- ・保護者の方の気持ちを大切にしながら必要な支援をしていきます。
- ・お子さんが地域で生き活きと暮らしていけることを支援していきます。

営業時間 8:45~17:15

送迎実施 なし

「こども支援室こだち」

は、児童福祉法に基づく児童発達支援です。3～5歳児のお子さまを対象にクラスを編成し、一年間の継続的な集団療育を行います。

主な行事

週1回の療育のため、行事は設定していません

職員の質の向上

- ・OJTを通して療育の視点や技術の向上を図っています
- ・各クラスでの取り組みを定期的に事業所職員間で情報共有を行い、相互的な研鑽に繋げています
- ・職員の経験値に合わせた研修受講を計画的に促進しています

主なクラスの流れの一例

9:30~入室・健康観察

朝の支度・自由遊び

個別課題/ワーク

10:00~朝のあつまり

手洗い・トイレ/おやつ

11:00~自由あそび

*この時間に担任と保護者で振り返りをします

11:25~帰りのあつまり

11:30~退室



認知・行動

スケジュールや手順表、行動見本などのモデルを示したり、取り組みやすい環境設定(構造化)の中で、見通しをもって参加できるようにします。また必要に応じて時計やタイマーなどで活動の区切りを予告し、自ら行動を切りかえるようにします

健康・生活

来所時の健康チェックを行い、日常生活動作が身につくよう手帳表などの視覚支援を活用しています

- ・朝の支度/帰りの身支度/おやつの準備
- ・荷物の管理/道具箱での物の管理
- ・排泄時の身だしなみの確認やハンカチの使い方の指導
- ・給食の配膳ごっこや掃除ごっこなど就学に向けた経験の機会の提供 など

運動・感覚

活動を通して、楽しみながら道具に合わせた体の使い方や行動調整の方法を学び、姿勢保持や運動・動作の向上を促します。また感覚の特性に合わせ環境調整をします

- ・個別スペースの設置、イヤマフや滑り止めシート、感覚グッズの使用などの併用の提案や活用
- ・くぐる、またぐ、止まるなどの運動を取り入れたサーキット活動や、一緒に運ぶ、積み上げるなど、相手と協力動作をして参加するゲーム活動 など

言語・コミュニケーション

遊びや活動場面を通して他者への意識や興味を広げ、「伝わった」経験や「伝えたい」気持ちを伸ばします。また、自分の気持ちに合わせた発信の仕方を大人と確認しながら、適切な表現で発信できる場面を増やしていくよう支援していきます

- ・活動の中で要求や取り組み後の報告、質問の機会の場面の設定
- ・選択課題での意思決定の経験 など

人間関係・社会性

活動を通して、他者と協力や交渉(相談)する経験などを通し、集団の一員として参加出来た経験につながるよう支援していきます。また、場面に合わせた振る舞いを確認し、成功体験による情緒の安定や、自己肯定感を高めていけるよう支援していきます

- ・他者とのやりとりや相談をする活動の提供
- ・花丸カードや参加方法などの視覚化 など

家族支援

保護者の方がお子さまについての理解が深まり、安心して子育てが出来るよう、相談の場や保護者同士の交流の場を設定しています

- ・個別面談の実施
- ・療育場面への参加・参観の機会の提供(活動内容に応じて同室での参観もしくは、モニターによる参観)
- ・モニター参観(療育場面をスタッフが解説をしながらお子さんの様子を確認)や、テーマ懇談の実施

移行支援

お子さまの所属している地域集団に訪問し、園での過ごし方や支援について確認し、園の先生や保護者の方と対応方法等を共有します。また年長児については、就学に向けた準備等を一緒に進めていきます

- ・幼稚園や保育所等への訪問
- ・園の先生の療育場面の見学受け入れ
- ・就学に関する保護者向け勉強会の開催
- ・プロフィールシートの作成の援助
- ・学校からの依頼を受け就学先への引継ぎの実施

地域支援・地域連携

地域の関係機関の方々への研修、見学の受け入れ